





# 立教70周年を祝い 献身誓う

## PL祭―聖地はじめ国内外で挙る



「教団(御木貴日止教主)は9月29日、大阪府富田林、市(聖地)をはじめ国内外の教会、支所などで立教70周年を祝うPL祭」を挙る。聖地では午前8時から、練成会館ホールで聖地在住(在勤者)とPL学園生らから参列者約1000人が参列し、正井啓介司長、武田信徳副司長と24人の祭司が入場。正井司長が神前に入り、祭文を奏上し、立教(1946年)以来、教を国内外に広げ「大平和を現」に貢献してきた教団の歴史を顕彰するとともに、「教主をいたくことを大いなる喜びとし、厚く感謝を捧げます」と互いに結び、終始一貫信仰して、世のため人のため、世界平和のために一層の献身に励むことを誓い、誓います」と結んだ。

御木貴日止教主が美智代夫人とともに神前に進み聖地を参拝された後、参列者全員で聖号奉唱

# 開教70周年へ向け スローガンを発表

## 世界の子どものために祈る日 妙智會教団

妙智會教団(宮本恵司法)は66年目の開教記念日にあたる10月12日午前10時から、東京・代々木の本部本殿大講堂で「開教66周年記念『世界の子どものために祈る日』」を挙る。女唄三唱の後、青年部員による献灯・献花、献供の儀が厳かに行われ、大講堂を荘厳した。導師の宮本恵司法が厳しく祈願、会員一同で読経した。



宮本法嗣と齋藤理事長、来賓、理事が登壇し万歳三唱

「今日という佳き日に、妙智の教えに出会えた日のこととを思い出し、もう一度原点に立ち戻り、素直な心で修行に励んで下さい」と力強く指導した。また、4年後を迎える開教70周年に向けての「スローガン」開教精神を育み、広

# 「導き」が最も尊い行

## 思親会 思親清行大士様第67聖忌報恩大法要

思親会(飯島法道会長)は10月12日午前11時から、神奈川県伊勢原市の本部・思親大宮殿大講堂で「思親清行大士様第67聖忌報恩大法要」を執り行った。堂内に讃仏歌が流れる中、参列者が順次着席。開式と同時に場内が暗転し、井戸清行開祖(思親清行大士)の足跡を辿る「浄行」開祖思親清行大士様の歩まれた浄き道」を放映。一人ひとりが報恩感謝の誓いを確認した後、献灯、灯明の点灯が行われ、宝璽上げ、荘厳された。式員が入座し、飯島法道会長、井戸開祖親族らによる代表献花の後、飯島会長を導師に読経し、供養を厳修した。休憩をはさみ、飯島会長を導師に読経を行った。中会長により、「大観音まつり 真生会(田中庸仁会長)は10月16日午前10時半から、岐阜市の総本山真生寺で「大観音まつり」を執り行った。本堂で「感謝の祈り報告文」を奏上した後、子ども奉献隊、青年奉献隊を先頭に導師の田中庸仁会長、式衆、歌隊が大観音広場に参進した。大観音広場では観音大慈悲の讃歌奉納に続き、観音経の読経と共に会員信徒各家の「子孫繁栄供養」が読み上げられた。最後に田中会長により、「大観音まつり 真生会」を執り行った。

# すべての人を救い導き

## 大観音まつり 真生会

別胎内仏が一体一休願供養され、大観音台座に奉安された。午後からは、本堂裏のお祭り広場において恒例の祝賀紅白餅まきが盛大に行われた。最初に6歳までの子どもたちに対し、会長夫妻による餅まきが行われ、幼児たちは歓声を上げて、ながら、夢中に餅を拾った。続発祥の地・修養道場前で発進式を行った後、修養道場から本部を先頭に東京をはじめ、東北や関東、甲信、静岡、北陸の支教会、国際仏教隊列を組んで、笛やうちわ太鼓に合わせ、万灯を振り行進する(左)。

# 人々の平和と幸せ祈る

## 第40回神里聖地祭 修養団捧誠会

東京・池袋の修養団捧誠会(出居徳久総裁)は10月9日午前11時から、静岡県沼津市の悠久世界平和郷(神里)の万霊万尊聖堂で「第40回神里聖地祭」を開催した。「血染めの旗」と出居徳久総裁が入場。参列者一同による「礼法」の後、山本博也実行委員長が開会の辞を述べ、1977(昭和52)年10月10日に竣工した悠久世界平和郷は、出居清太郎総裁が構想を発表後、10年を経て落成したことなどを紹介した。出居総裁が富士山を望む万霊万尊聖堂正面に正座し、「いのりのことば」を奏上した。早山徹会長は式辞において、竣工式での出居総裁の「ことば」を紹介し、「祝福の神事」を行った。その後、参列者代表4人が聖花を献上し、遂断り、参列者一同で聖号奉唱し、式典を終了した。この後、正井司長が、教主が第三代教主に就任した1983(昭和58)年当

# 秋晴れのもと行進

## お会式・立正佼成会 一乗まつり

立正佼成会(庭野日鏡会長)は10月2日、東京・杉並区にある「一乗まつり」を執り行った。同日午前9時から大聖堂で「一乗行進祈願供養」が執り行われ、庭野光祥次代会長を導師に読経供養を行った。この後、庭野会長が「お言葉」を述べ、聖徳太子の「和を以て貴しと為す」にある「和を以て貴しと為す」を語り、「日本の『大和』という名前の由来、その心を理想とし、『お会式一乗まつり』を通して体現していただきたい」と述べた。さわやかな秋晴れのもと、正午過ぎに発祥の地・修養道場前で発進式を行った後、修養道場から本部を先頭に東京をはじめ、東北や関東、甲信、静岡、北陸の支教会、国際仏教隊列を組んで、笛やうちわ太鼓に合わせ、万灯を振り行進する(左)。

「一歩ずつ歩み」と呼びかける出居総裁。同日午前11時から、静岡県沼津市の悠久世界平和郷(神里)の万霊万尊聖堂で「第40回神里聖地祭」を開催した。「血染めの旗」と出居徳久総裁が入場。参列者一同による「礼法」の後、山本博也実行委員長が開会の辞を述べ、1977(昭和52)年10月10日に竣工した悠久世界平和郷は、出居清太郎総裁が構想を発表後、10年を経て落成したことなどを紹介した。出居総裁が富士山を望む万霊万尊聖堂正面に正座し、「いのりのことば」を奏上した。早山徹会長は式辞において、竣工式での出居総裁の「ことば」を紹介し、「祝福の神事」を行った。その後、参列者代表4人が聖花を献上し、遂断り、参列者一同で聖号奉唱し、式典を終了した。この後、正井司長が、教主が第三代教主に就任した1983(昭和58)年当

ひとりで悩まず電話して! ホントにつらい時って誰にもいえない...よね。

●必要に応じて面接をしています。  
●手紙でのご相談にも応じています。  
●秘密は守られます。  
●相談は無料です(通話料はかかります)。  
●金銭的な援助はできません。  
●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。  
●特定の思想・宗教・政党などは一切関係ありません。

NPO法人 国際ビフレンダーズ  
**東京自殺防止センター**  
**03-5286-9090**  
年中無休、夜8時から翌朝6時まで  
火曜のみ午後5時から翌朝6時まで  
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団シロア教会内  
事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)

●全国にある他の自殺防止センター  
国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター  
06-6260-4343 毎週金曜、午後1時から日曜、午後10時まで  
国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター  
0985-77-9090 毎週日曜・月曜・水曜・金曜、午後8時から午後11時まで  
国際ビフレンダーズ 岩手自殺防止センター  
019-82-19090 毎週土曜、午後8時から午後4時まで  
国際ビフレンダーズ あいち自殺防止センター  
0565-70-9090 毎週土曜、午前0時から午前5時まで

# 平和への実践誓い合う

## 世界宗教者平和のための祈りの集い



開会式(18日)で、立正佼成会の庭野会長は宗教者の創造性や人材育成の重要性を述べた

「第30回世界宗教者平和のための祈りの集い」(主催「聖エジディオ共同体」)は9月18日午後、イタリア・アッシジ市内の「リリック劇場」で開会式が行われた。セルジョ・マッタレラ・イタリア大統領が出席し、歓迎あいさつに続き、聖エジディオ共同体創始者、アンドレア・リカルテ氏が登壇。30年前、アッシジに集った宗教者が諸宗教の絆を再構築していくことを確信し、その後各地で平和への実践を重ねてきた事例を紹介した。

また、庭野日蓮立正佼成会会長は貧困や紛争、頻発するテロなどに対して宗教者が自らを内省しつつ、創造的な工夫を続けていく重要性を指摘。政治・経済・国際機関・民間団体・メディアなどの連携を深め、より開かれた、より行動的な活動を目指すことは不可欠、「あらゆる問題に継続的に取り組み、本質的な解決に導いていく上で、人材育成は要となる」と述べた。

19日から20日にかけて市内の教会などで、28の分科会が開かれた。テーマは貧困やテロをはじめ、シリア内戦の空爆で孤立化しているアラブの救済など、急速なグローバル化によって引き起こされている諸問題が取り上げられた。その中で「すべての人に食糧と水を」と分科会では、庭野会長がスピーチ。二食を捧げる運動」を紹介した後、「仏教の『自利利他』の言葉の如く、自も他も共に救われていくことが、人間の本来の生き方なのではないかと提言した。また、「アジアの宗教

者が自らを内省しつつ、創造的な工夫を続けていく重要性を指摘。政治・経済・国際機関・民間団体・メディアなどの連携を深め、より開かれた、より行動的な活動を目指すことは不可欠、「あらゆる問題に継続的に取り組み、本質的な解決に導いていく上で、人材育成は要となる」と述べた。

対話、平和」分科会では、宮本恵司妙智會教団法嗣がスピーチ。宮本法嗣は「あらゆるインターナショナルの活動を説明しながら、妙智會教団の平和への取り組みを紹介した。とりわけ同団体が推進し

ている倫理教育の詳細を解説。宗教・文化が多文化化する現代世界において、子どもや若者が生きていくために開発した教育プログラムが、「共に生きることを学ぶ」が、9カ国語に翻訳され、30カ国で使用されてきている状況を紹介した。

20日夕、聖フランシスコ大聖堂で開かれた開会式には約3000人の参加者が出席。今日、世界は平和を深く望んでいる」と「宗教を信じるすべての人が『平和実践の職人』になっていくように」と訴えた。

# 日本宗教代表者会議が発会

## 世界宗教者平和の祈りの集いに向け

比叡山宗教サミット30周年 来月8月3、4日に開催される「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』」の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

菅母は「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』の運びを代表してあいさつし、菅母と日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都市左京区の国立京都国際会館で開催された。

# 仏教の根本は命

## 大阪府佛教徒大会

大阪府佛教会(井桁雄弘会長)は10月14日午後3時から、大阪市内のホテルで「第51回大阪府佛教徒大会」を、大阪府佛教青年会(小松光昭会長)との共催で開催した。

全国災害物故者追悼法要の後、式典に移り、井桁雄弘会長があいさつ。「今日、『お坊さん派遣』や『養護』の問題で、伝統仏教に逆行が吹いている。さらに若者の宗教離れが顕著に現れている。こういふ時代だからこそ、われわれは、社会の役に立つよう、日々精進しなければならぬ」と述べた。

北法相宗管長、京都・清水寺の森清範住持が「心のすがた」をテーマに講演を行った。森氏は「心は仏がいて、負・瞋・痴がそれを隠している」と述べ、心は複雑なもので、自我により左右されると、それは「目で見て、心で判断する際、生命記憶を通してためである」と解説。生命誕生の不思議さを強調し、「命とは尊く、不偏で平等だ。それは仏も同じ」と述べた。

また、「アジアの宗教者が自らを内省しつつ、創造的な工夫を続けていく重要性を指摘。政治・経済・国際機関・民間団体・メディアなどの連携を深め、より開かれた、より行動的な活動を目指すことは不可欠」と述べた。

また、「アジアの宗教者が自らを内省しつつ、創造的な工夫を続けていく重要性を指摘。政治・経済・国際機関・民間団体・メディアなどの連携を深め、より開かれた、より行動的な活動を目指すことは不可欠」と述べた。

# 聖徳太子と日本のこころ

## 奈良県宗教者フォーラム

第13回奈良県宗教者フォーラム(白谷正寛実行委員長)が9月25日午後6時半から、奈良県橿原市の法隆寺の聖徳会館で開催され、宗教者はじめ、一般市民を含む3400人が参加した。

今回のフォーラムは「日本のごとく宗教の役割」と「聖徳太子のごとくをテーマに、聖徳太子の教えが飛鳥時代の民衆に及ぼした影響を考へ、また現代社会との関わりを学び、現代が受け継ぐべき日本のこころを再見したい」とした。

白谷氏は「聖徳太子の教えが飛鳥時代の民衆に及ぼした影響を考へ、また現代社会との関わりを学び、現代が受け継ぐべき日本のこころを再見したい」とした。

白谷氏は「聖徳太子の教えが飛鳥時代の民衆に及ぼした影響を考へ、また現代社会との関わりを学び、現代が受け継ぐべき日本のこころを再見したい」とした。

# 「赤ちゃんポスト」の課題

## 宗教倫理学会・公開講演

宗教倫理学会(小田淑子会長)は10月9日、関西大学・千里山キャンパスで「第17回学術大会」の公開講演を行った。

「赤ちゃんポスト」研究の最新線、生命保護と権利擁護の両面をテーマに、千早経済学短期大学部こども学部の柏木典生教授が講師を務めた(写真)。

「赤ちゃんポスト」研究の最新線、生命保護と権利擁護の両面をテーマに、千早経済学短期大学部こども学部の柏木典生教授が講師を務めた(写真)。

「赤ちゃんポスト」研究の最新線、生命保護と権利擁護の両面をテーマに、千早経済学短期大学部こども学部の柏木典生教授が講師を務めた(写真)。

# 首都圏大震災に備えて

## 日弁連「法の目」フェスタ

日本弁護士連合会(日弁連、中本和洋会長)は10月1日午後1時から、東京・有明コロシアムで「法の目」フェスタを開催した。

中本和洋会長は開会のあいさつで、1992年(昭和3)年10月1日に陪審法が施行されたことを記念し、同日が「法の目」の定められたことを説明。また、同日が「法の目」の定められたことを説明。また、同日が「法の目」の定められたことを説明。

中本和洋会長は開会のあいさつで、1992年(昭和3)年10月1日に陪審法が施行されたことを記念し、同日が「法の目」の定められたことを説明。また、同日が「法の目」の定められたことを説明。

# 宗教の自由とは何か

Q9 国民一人ひとりが伝統の素懐で宗教を理解するために、ある程度の「押し付け」も必要ではないですか?

A9 「押し付け」では、その「伝統」を維持することができません。

Q10 「あぶなな宗教」は国民のためにも取り締まるべきではありませんか?

A10 法律に抵触し、「公共の福祉」に反しない限り、取り締まるべきではありません。しかし、「宗教の自由」があるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

Q11 「あぶなな宗教」は国民のためにも取り締まるべきではありませんか?

A11 個人の「宗教の自由」を侵害するような団体のことを「伝統」を維持することができません。

Q12 「あぶなな宗教」は国民のためにも取り締まるべきではありませんか?

A12 個人の「宗教の自由」を侵害するような団体のことを「伝統」を維持することができません。

# 個人の「宗教の自由」尊重こそ

## あぶなな宗教活動のために

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。



「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

「あぶなな宗教」と呼ばれるものがあるからといって、何を行ってもいいというわけではありません。

# 新刊紹介

## 神社と政治

小林 正弥 著

政治哲学や公共哲学を専門としてきた小林正弥氏が、この本で「神社と政治」というテーマに挑戦している。本書は、著者によれば、コミュニティ・共同体を重視し、その地域の人の価値観や世界観を尊重し、それを理解して内側から考えることを重視している。したがって、日本社会や日本の政治を考える際には、「神道」といふ伝統的宗教の理解は必要不可欠になってくる。

小林正弥 著



小林正弥 著

小林正弥 著